



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

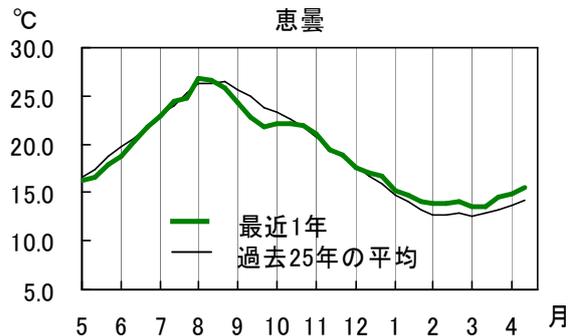
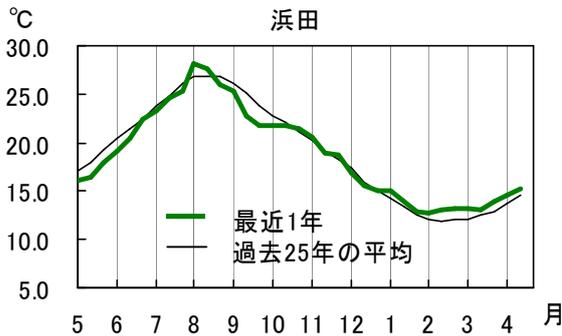
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《3-4 月の海況》

3 月	月平均	平年差	評 価
浜田	13.4℃	+0.9℃	かなり高め
恵曇	13.9℃	+1.1℃	かなり高め

沿岸定地水温は、3 月は浜田、恵曇とも平年よりかなり高めとなりました。4 月に入ってからには浜田、恵曇とも平年より高めに推移しています。



《 3 月の漁況 》

【中型まき網漁業】

浜田はカタクチイワシ、マサバ主体の漁況で、記録的な不漁だった前年を上回ったものの、主力のマアジの不振により漁獲量、金額はそれぞれ平年の 6 割、8 割に留まりました。浦郷はカタクチイワシの好漁により漁獲量、金額はともに平年の 2.2 倍となりました。西郷も浦郷と同様にカタクチイワシを主体に漁獲量、金額はそれぞれ平年の 2.0 倍、1.9 倍と好調に推移しました。

【イカ釣漁業】

浜田港（属地 5 トン以上）ではスルメイカ中心の漁況で、前月と同様に漁獲量は不漁であった前年を大きく上回ったものの平年比では 7 割に留まりました。西郷（属人 5 トン以上）も浜田港と同様にスルメイカ中心の漁況で、漁獲量は前年を大きく上回ったものの平年比では 3 割と低調でした。

【沖合底びき網漁業】

浜田港では 1 ヶ統 1 航海あたり漁獲量は前年、平年（過去 10 年平均）を上回りました。漁獲の主体はソウハチ、スルメイカ、ムシガレイでした。今期好調のソウハチは前年の 3.8 倍、平年の 2.2 倍の漁獲がありました。スルメイカは前年の 7 割とほぼ平年並みに留まりました。

【小型底びき網漁業】

大田地区ではソウハチ、ニギス、アンコウが、和江地区ではソウハチ、アンコウが主に漁獲されました。総漁獲量、1 隻 1 航海あたり漁獲量とも前年、平年を上回りました。好調のソウハチは両地区ともに前年の 1.5 倍～3 倍の漁獲がありました。またアンコウも前年の 1.9～3.3 倍の漁獲がありました。

【定置網漁業】

出雲地区ではスルメイカを主体にヤリイカ、ブリなどが漁獲され、漁獲量は平年の 1.8 倍となりました。隠岐地区ではスルメイカ主体で平年の 9 割の漁獲量となりました。石見地区ではサバ類、マアジなどが漁獲され、平年並の漁獲量となりました。

【釣・縄】

石見地区ではブリ、メダイが中心で、漁獲量は平年の 1.3 倍でした。出雲地区ではブリ、ヤリイカ、スルメイカを主体に漁獲量は平年の 1.3 倍でした。隠岐地区ではスルメイカ、カサゴ・メバル類が主体で、平年の 6 割の漁獲にとどまりました。

【平成 19 年 3 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	カタクチイワシ、マサバ	404トン	2,423	63	17トン	101	74	▲
	西郷	カタクチイワシ、マアジ	5,836トン	2,095	192	85トン	668	195	◎
	浦郷	カタクチイワシ、マアジ	3,631トン	2,782	217	65トン	745	220	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	169トン	580	72	801 kg	326	177	◎
	西郷	スルメイカ	9トン	-	32	136 kg	-	33	○
沖合 底びき網	浜田	ソウハチ、スルメイカ、ムシガレイ	426トン	104	114	15トン	112	131	◎
小型 底びき網	大田市	ソウハチ、ニギス、アンコウ	176トン	155	113	668kg	125	122	◎
	和江	ソウハチ、アンコウ	270トン	140	111	752kg	136	121	◎
定置網 (大型)	浜田	-	-	-	-	-	-	-	-
	美保関	スルメイカ、ヤリイカ、マアジ	31トン	136	210	695kg	126	205	◎
	浦郷	スルメイカ	38トン	113	65	1219kg	91	42	▲
釣り・縄	仁摩	メダイ、スルメイカ	15トン	144	119	38kg	108	106	○
	大社	ブリ	60トン	1475	138	72kg	435	143	◎
	西郷	カサゴ・メバル類、メダイ	6トン	235	47	21kg	177	37	▲

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下